

FATSものづくり工房

先端工学外科（FATS）では、AMED国産医療機器事業において国産の医療機器を多く創出するため、医療ニーズを満たした医療機器の製品設計の推進を図るための基盤となる環境・体制を整備しています。その一環として、気軽に試作品を作成できる“ものづくり工房”をオープンしました。

利用料は無料で、作成をお手伝いするスタッフもいるので、ものづくりが初めての方でも安心してご利用できます。ものづくり工房は誰でもご利用いただけるので、企業や医師の方など、自分たちのアイデアも形にしたい方は、是非、この機会に本工房をご利用ください。



【場所】 東京女子医科大学 先端生命医科学
研究所(TWIns) B1F S301

【利用時間】 毎週水曜日 9:00-17:30
(※その他の日時は要相談)

【利用料】 無料

【問い合わせ先】

✉ kokusan.iryo.twmu@gmail.com

☎ 03-3353-8112 (内線43003)

(担当：堀瀬、正宗)

☆ものづくり工房スタッフ☆

僕たちが一緒にお手伝いします!!



田中さん
(安久工機)



木村さん
(木村製作所)

設備については裏面をチェック↓ ↓

FATSものづくり工房の設備

◎ 旋盤加工

被工作物を回転させ、工具刃物を当てて削る加工法です。
主に丸棒を材料として加工を行います。

<加工可能なサイズ>

- 直径120 mmまでの外径切削
- 最小直径7 mmからの内径切削
- ワーク（被切削物）長さ420 mmまで

<素材について>

アルミ、真鍮、樹脂等（機械の強度が低いため、ステンレスやチタン等の難切削材には不向き）



◎ フライス加工

工具刃物を回転させ、被切削物に当てて削る加工法です。
加工室の機械においては、旋盤との複合機になっています。

<加工可能なサイズ>

最大穴あけ加工直径20 mmまで
ストローク（最大）
x : 420 mm, y : 150 mm, z : 170 mm
バイス : 90 × 90 mm位まで

<素材について>

アルミ、真鍮、樹脂等（機械の強度が低いため、ステンレスやチタン等の難切削材には不向き）



◎ 穴あけ加工(ボール盤)

ドリルによって工作物に穴をあける加工法です。

<加工可能なサイズ>

ドリルチャック最大径13 mm
（直径13 mmまでの穴あけ加工が可能）

<素材について>

アルミ、真鍮、樹脂等（機械の強度が低いため、ステンレスやチタン等の難切削材には不向き）



◎ 3Dスキャナ・3Dプリンタ

3次元形状の取得や、3次元データを元に造形する装置です。

<形状取得>

3D精度（最大） : 0.05 mm
最短距離撮影範囲(H × W) : 90 × 70 mm
最長距離撮影範囲(H × W) : 180 × 140 mm

<立体造形>

造形可能サイズ : 127 × 127 × 127 mm
積層ピッチ（最小） : 0.17 mm
素材 : ABS plus 樹脂



例：肩関節モデル

ご意見・ご要望のある方は、お気軽にお問い合わせください。

